

授業の概要 / Course description

科目基礎情報 / Course information	
開講元学部 / Faculty	共通 / COMMON
開講元学科 / Department	全学共通 / GENERAL STUDIES
登録コード / Registration Code	GST101A5
期間 / Period	2023年度 / Academic Year 春学期 / SPRING
学期 / Semester	春学期 / SPRING
曜限 / Period	月 / Mon 1
教室 / Classroom	月1 :6-407 / 6-407
科目名 / Course title	思考と表現 (Aブロック) / CRITICAL THINKING & WRITING
授業形態 / Course Type	講義 / Lecture
科目ナンバリング / Course Numbering	THP101-02j00
レベル / Level	100
教員表示名	李 英美
主担当教員名 / Instructor	李 英美 / RI YONMI
単位数 / Credits	2
更新日 / Date of renewal	2023/02/21
講義概要情報 / Course description	
授業実施方法 / Class format	対面授業 / Face-to-face classes only
授業実施方法に係る追加情報 / Additional information concerning the class format	本授業では、授業に関する連絡や資料の配布、リアクションペーパーの提出などは、Moodleによって行う。受講生は、初回授業までに必ずMoodleの当該コースへの登録を完了させておくこと。また、授業中にもMoodleを参照するため、なるべく、Moodleへのアクセスが出来るように、PCなどの準備をしてほしい。なお、ハイフレックス授業のためのZoomのIDは、授業前日までにLoyolaの掲示板とMoodle上で知らせるため、必ず授業開始日までに確認しておくこと。
キーワード / Keywords	思考 表現
アクティブ・ラーニングの実施 / Active Learning	あり / Yes
授業の概要 / Course description	<p>この講義では、他者の思考や多様な情報に向き合いながら、自分の考えを組み立てて表現するプロセスを体験します。その体験を通じて、物事を多角的に見る力を養い、他者に寄り添う力や傾聴力、自ら問う能力を培い、生涯の学びの基盤となる「気づき」を得ることを目指します。具体的には、本講義では、「聞く」・「読む」・「話す」・「書く」の4つの能力を有機的に結びつけた言語活動と捉え、次のような活動をおこないます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な文章を題材とし、その抜粋を読解する。また、その要約を作成する。 ・グループワークで、教員から与えられたテーマについて対話する。 ・自分自身の考えを深め、論理的に表現する方法を学ぶ・他の学生が書いた文章を読み、よりよい作品になるよう協力して推敲する。 <p>※ 授業はすべて日本語で行う。なお、授業の順序や内容の細目は予告なく変更される可能性がある。</p>
ディプロマ・ポリシー (DP) との関連 (対応するポリシーは、科目開講元のポリシーである。借入れ科目の場合は、カリキュラムマップを参照のこと) / Correspondence to Diploma Policy of the offering Faculty and Department (Students who belong to other faculties and departments, check Curriculum Map of your faculty and department)	上智大学DP
到達目標 (授業の目標) / Course objectives	<p>他者と対話するグループワークや、文献を読んで他者の考えを丁寧に理解する活動を通じて、</p> <p>① 他者の意見に耳を傾けて、自らの思考の偏りや理解の不足についての「気づき」を獲得し、生涯の学びの基盤となるようなクリティカルシンキングの力を身につけること。</p> <p>② 「気づき」を学びにつなげることの重要性を理解し、学んだことの意義や価値を他者に対して表現できるようになること。</p>
授業時間外 (予習・復習等) の学習 / Expected work outside of class	課題文の読解・評価対象となる意見文やレポートの執筆や推敲などについて、授業の前後に時間をとり、取り組むこと。その他、授業の課題に縛られない、自由な思索と他者との対話の時間を大切にほしい。また、学生の関心と意欲に合わせて、自由な対話の場としてオフィスアワーを設けるため、予約の上、授業時間外に利用することも可能。ここで行われる質疑応答や添削は評価の対象とはならない。

授業1回あたりの授業時間外（予習・復習等）の学習時間 /Length of time for work expected outside per class	190分
他学部・他研究科受講可否 /Other departments' students	可/Yes ※要覧記載の履修対象とする年次を確認すること。 Please make sure to confirm the student year listed in the bulletin.
評価基準・割合 /Evaluation	授業参加/Class participation (30.0%) その他/Others(in detail) (70.0%) : 意見文を2本、レポートを1本、計3本の文章の提出を求める。 評価の割合は、次の通りである。 ・意見文1 : 20% ・レポート : 30% ・意見文2 : 20%
テキスト（教科書）/Textbook	自由記述/Free Text : 適宜、授業内で課題文・参考資料を配布する。
参考書/Readings	自由記述/Free Text : 適宜、授業内で参考資料を紹介する。

講義スケジュール/Schedule

授業計画/Class schedule	1.イントロダクション：授業概要と評価方法の説明、導入（「問い」に対して自分で答えを導き、それを他者と共有する）※尚、以下は予定であり、授業内容や順序を変更する可能性もある。
	2.意見文を書く(1)-1：読解（課題文を読解し、要約をする。それを他者と共有し、自己の文章を客観視する）
	3.文献と情報の探し方を学ぶ：図書館利用入門 *実施回は変更される可能性があるので注意すること。
	4.意見文を書く(1)-2：意見文の執筆（課題文の読解を踏まえ、自分なりに問題を発見する。自ら主題を決めて、意見文を執筆する）
	5.意見文を書く(1)-3：意見文の相互評価と推敲（執筆した意見文を互いに評価し、それを踏まえて各自で推敲する）
	6.学問体系と複数の思考パターンを知り、自分の考えを見つめ直す①（自身の分野と他分野との関連性について考え、学ぶ。基本的な資料集の方法についても説明をする）
	7.学問体系と複数の思考パターンを知り、自分の考えを見つめ直す②（他分野との関連を踏まえ、自己の思考・学びを相対化する。周辺分野から、自己の分野を捉える）
	8.視野を広げて物事を多角的に見る（自身と異なる立場に立ち、視野を広げる事を試みる。その上で、感じた事・考えた事を他者と共有する）
	9.レポートを書く①：思索・対話の準備（課題文を読解し、そこから自らの力で問題を発見する。自身の主題に基づき、参考資料を収集する）
	10.レポートを書く②：対話の実践（主題を披露し合い、それぞれに評価し合い、学びを得る。互いに協力して参考資料を探す）
	11.4つの言語活動とその媒体について（「聞く」「読む」ことと「話す」「書く」ことについて、それに関連する媒体とその関係性について学ぶ）
	12.レポートを書く③：レポートの執筆（これまでの学びを活かし、レポートを執筆する）
	13.レポートを書く④：レポートの相互評価と推敲（執筆したレポートを互いに評価し合う）
	14.意見文を書く(2)：（課題文の読解を踏まえ、自分なりに問題を発見する。自ら主題を決めて、意見文を執筆し、完成させる）
課題等に対するフィードバック方法 /Mediums for feedback to students	Loyola/Moodleで行う/Loyola / Moodle 口頭で行う/verbally
課題等に対するフィードバック方法に係る追加情報 /Additional information concerning mediums for feedbacks	リアクションペーパーは全体への授業のフィードバックとして用いる。リアクションペーパーおよび課題（意見文2本、レポート1本）を含むすべての提出物について、原則として、添削や個別のフィードバックは行わないが、そのうち全体に共有すべき内容のものについては、授業中に予告なく取り上げる場合がある。すべての提出物は匿名性を保ったうえで今後の教育に活かすための研究対象となる可能性がある。